番号	43－1

専門教育科目	共通科目	校外研修

授業名	校外研修	対象学年： １学年	単位数： １ 3/5単位	講義形態： 実習
講義時期	通　年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：	
担当講師	百瀬　浩行 （県職員の経験を活かし、基礎から実践までの実務教育を行います。）			
授業の達成目標	既定の講義のみでは得られない、多様な自然環境や地域の伝統的な技術を体験・取得することで幅広い教養を身に着ける。			
概　要	水平的にも垂直的にも異なる自然環境下での森林・林業を学ぶ他、地域の伝統的な催しや食材作りなどを地域の有識者から学ぶなど実学を行う。			
テキスト	その都度配布します。			
参考書				
事前事後の学習	必要に応じ実施します。			
成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀　：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者） 優　：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者） 良　：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者） 可　：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者） 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）			
成績評価の方法	評価割合は、報告書40%、研修態度20%、出席時間数40%とする。			
メッセージ	新たな思考を展開していくためには、より多くの直接的な経験を培っていくことが重要です。研修時間を大切にし、貪欲に学びましょう。			

展　開	講義名	講義内容
	校外研修①	長野県の魅力ある森林・林業・木材産業等に関わる文化を学ぶ。
	校外研修②	我が国の森林・林業・木材産業の現状を学びながら、その特色や長野県との違いを考える。

番号	43－2

専門教育科目	共通科目	校外研修

授業名	校外研修	対象学年： ２学年	単位数： ４単位	講義形態： 実習
講義時期	通　年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：	

担当講師	萩原　淳 （県職員での業務経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。）
授業の達成目標	既定の講義のみでは得られない、社会事象に柔軟でタイムリーに反応した知識が得られる。
概要	地域行事への主体的参加、林業技術関連イベントへの企業・他大学との連携参加など、社会情勢の要請・変化に対応した実学を行う。
テキスト	その都度作成する。
参考書	
事前事後の学習	必要に応じ実施する。
成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀　：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者） 優　：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者） 良　：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者） 可　：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者） 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）
成績評価の方法	評価割合は、報告書40%、研修態度20%、出席時間数40%とする。
メッセージ	

展開	講義名	講義内容
	校外研修	海外もしくは国内研修や、林業関連イベント及び地域イベント参加による研修を行う

番号	44-1

専門教育科目	共通科目	体験研修

授業名	体験研修	対象学年： １学年	単位数： １単位	講義形態： 実習
講義時期	通　年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：	
担当講師	百瀬　浩行 （県職員の経験を活かし、地域社会から世界的な情勢まで多様で幅広い実務教育を行います。）			
授業の達成目標	既定の講義のみでは得られない、多様な自然環境や地域の伝統的な技術を体験・取得することで幅広い教養を身に着ける。			
概要	垂直的にも水平的にも異なる地域において森林・林業を学ぶ他、地域の伝統的な催しや食材作りなどを地域の有識者から学ぶなど実学を行う。			
テキスト	その都度配布します。			
参考書				
事前事後の学習	必要に応じ実施します。			
成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀　：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者） 優　：授業の達成目標の水準よりかなり上にある　（評点が80点以上95点未満の者） 良　：授業の達成目標の水準よりやや上にある　（評点が70点以上80点未満の者） 可　：授業の達成目標の水準にある　（評点が60点以上70点未満の者） 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある　（評点が60点未満の者）			
成績評価の方法	評価割合は、目標の定め方20%、研修態度30%、とりまとめ30%、発表20%とする			
メッセージ	地域の伝統文化等を知ることは、社会人として新しい世界へ踏み出したときに、その場所で生きていくための「術(すべ)」を身につける第一歩です。			

展開	講義名	講義内容
	体験研修	御嶽山の登山道整備やほお葉巻づくりや桧皮葺きなど、地域で伝統的に行われていることを体験する。

番号	44-2

専門教育科目	共通科目	体験研修

授業名	体験研修	対象学年： ２学年	単位数： １単位	講義形態： 実習
講義時期	通　年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：	
担当講師	萩原　淳 （県職員の経験を活かし、地域社会から世界的な情勢まで多様で幅広い実務教育を行います。）			
授業の達成目標	既定の講義のみでは得られない、多様な自然環境や地域の伝統的な技術を体験・取得することで幅広い教養を身に着ける。			
概要	県民主体の催しへの参加や森林・林業関係企業等の有識者から学ぶなど実学を行う。			
テキスト	その都度作成する。			
参考書				
事前事後の学習	必要に応じ実施する。			
成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀　：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者） 優　：授業の達成目標の水準よりかなり上にある　（評点が80点以上95点未満の者） 良　：授業の達成目標の水準よりやや上にある　（評点が70点以上80点未満の者） 可　：授業の達成目標の水準にある　（評点が60点以上70点未満の者） 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある　（評点が60点未満の者）			
成績評価の方法	評価割合は、目標の定め方20%、研修態度30%、とりまとめ30%、発表20%とする。			
メッセージ				

展開	講義名	講義内容
	体験研修	植樹祭・育樹祭への参加など地域で行われる行事を体験する。

番号	45

専門教育科目	共通科目	体験研修

授業名	自主研究	対象学年： 全学年	単位数： １単位	講義形態： 実習
講義時期	通　年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：	
担当講師	萩原　淳 （県職員での業務経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。） 百瀬　浩行 （県職員の経験を活かし、基礎から実践までの実務教育を行います。）			
授業の達成目標	既定の講義のみでは得られない、向学心、論理的思考やプレゼン能力を修得する。			
概　要	学生自らが興味を抱いた事項を研究テーマに設定し、調査・実験等を行いその成果を取りまとめ、発表会でプレゼンテーションする。			
テキスト	基本的に学生の自発的な研究に委ね、相談に応じて必要な資料等を配布します。			
参考書	基本的に学生の自発的な研究に委ね、相談に応じて必要な書籍等を紹介します。			
事前事後の学習	必要に応じ実施します。			
成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀　：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者） 優　：授業の達成目標の水準よりかなり上にある　（評点が80点以上95点未満の者） 良　：授業の達成目標の水準よりやや上にある　（評点が70点以上80点未満の者） 可　：授業の達成目標の水準にある　（評点が60点以上70点未満の者） 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある　（評点が60点未満の者）			
成績評価の方法	評価割合は、目標の定め方20%、研修態度30%、とりまとめ30%、発表20%とする。			
メッセージ	社会人として自らの目標を達成していくためには、たゆまぬ向上心を維持・増進させていくことが大切です。自主研究を通じ、自発的に課題を解決していく力を養いましょう。			

展　開	講義名	講義内容
１年次	自主研究	研究テーマを決め、研究を進め、中間発表を行う。
２年次	自主研究	１年次の中間発表を経て研究を修正しながら進め、最終的には研究報告発表を行う。

番号	46

専門教育科目	共通科目	特別講座

授業名	特別講座	対象学年： 全学年	単位数： ２単位	講義形態： 講義
講義時期	通　年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：	
担当講師	萩原　淳 百瀬　浩行 （県職員での業務経験を活かし、講師の人選を含め最適な講義環境をコーディネートします。）			
授業の達成目標	自然界の生態学的基本法則を理解し、森林への生態学的思考ができる。 既定の講義のみでは得られない、社会人となってからの実践的な知識・技術を修得する。			
概　要	地域行事への主体的参加、林業技術関連イベントへの企業・他大学との連携参加など、社会情勢の要請・変化に対応した実学を行う。			
テキスト	講師作成テキスト使用他			
参考書	関係資料配布			
事前事後の学習	必要に応じ実施する			
成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀　：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者） 優　：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者） 良　：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者） 可　：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者） 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）			
成績評価の方法	評価割合は、報告書40%、研修態度20%、出席時間数40%とする。			
メッセージ				

展　開	講義名	講義内容
	特別講座	交通安全講座や就職ガイダンスなど社会人としての心構えや行動について学ぶ。

番号	47－1

専門教育科目	共通科目	インターンシップ

授業名	インターンシップ	対象学年： １学年	単位数： 1 1/3単位	講義形態： 実習
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：	
担当講師	百瀬 浩行 （学生の意向にあったインターンシップ先を調整等を行い、実践的な研修を行います。）			
授業の達成目標	技術者としての理想や倫理観を持ち、社会人としての行動マインドを持つことができるようになる。 他者との協力、目標実現のためのコミュニケーション能力、チームワーク力、リーダシップを発揮できるようになる。			
概要	学生自らが研修を希望し、受け入れを認める企業等で就業体験を行う。			
テキスト	学生からの自発的な要求に応じて必要な資料等を配布します。			
参考書	学生からの自発的な要求に応じて必要な書籍等を紹介します。			
事前事後の学習	必要に応じ実施します。また、自発的に休祝日を活用して研修期間を延長・追加することができます。			
成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀 ：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者） 優 ：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者） 良 ：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者） 可 ：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者） 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）			
成績評価の方法	研修レポートでの評価			
メッセージ	自らの将来を確実なものとするため、意欲的に研修場所を探し、積極的に取り組みましょう。			

展開	講義名	講義内容
１・２	事前学習による理解醸成	
３～14	インターンシップ（就業体験）	
15～20	まとめ	

番号	47-2

専門教育科目	共通科目	インターンシップ

授業名	インターンシップ	対象学年： ２学年	単位数： ２ 2/3単位	講義形態： 実習
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：	

担当講師	萩原 淳 （県職員での業務経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。）
授業の達成目標	職業人としての理想や倫理観を持ち、社会人としての行動マインドを持つことができるようになる。 他者との協力、目標実現のためのコミュニケーション能力、チームワーク力、リーダシップを発揮できるようになる。
概要	学生自らが研修を希望し、受け入れを認める企業等で就業体験を行う。
テキスト	学生からの自発的な要求に応じて必要な資料等を配布します。
参考書	学生からの自発的な要求に応じて必要な書籍等を紹介します。
事前事後の学習	必要に応じ実施します。また、自発的に休祝日を活用して研修期間を延長・追加することができます。
成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀 ：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者） 優 ：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者） 良 ：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者） 可 ：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者） 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）
成績評価の方法	実習レポート、インターンシップ研修発表会での評価
メッセージ	自らの将来を確実なものとするため、意欲的に研修場所を探し、積極的に取り組みましょう。

展開	講義名	講義内容
１～20	インターンシップ（職場体験）	
21～30	まとめ	
30～34	発表	
35～40	まとめ	